

札幌社保協 FAXニュース

2010年 1月26日(火)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

今月の国保・介護
・後期高齢者110
番は1/28です



札幌市

資格証明書は出さない 短期保険証は郵送

札幌社保協は19日、2/1の短期保険証更新を前に札幌市に対し後期高齢者医療の●資格証明書発行をしないこと、●短期保険証は窓口交付をしないこと、を緊急要請しました。社保協から佐藤代表、齊藤事務局長、年金者組合、新婦人、豊平社保協の代表が参加し、市の木村後期高齢者担当課長などが対応しました。

後期高齢者の運営自体は道広域連合ですが、保険料徴収や保険証の交付などは自治体が行っています。資格証明書・短期保険証を出すかどうかは、自治体の態度によって違ってきます。

市側は「資格証明書の発行は国への報告も必要で、実際には発行は難しいと考える」と出さない姿勢を示しました。短期保険証を道広域連合は「窓口交付が基本」としていますが、札幌市は09年8月交付時には全員(72件)に郵送しました。2/1時も「十分な折衝ができていないと思われるので窓口交付はできない」と、郵送することを明らかにしました。

次期保険料は引き上げ 住民説明会では批判が続出

広域連合による住民説明会が1/13から全道で始まっています。2010・11年度の保険料は最大8%の引き上げ、平均保険料91,000円(現在84,200円)と言われています。

各地の会場にはたくさんの人が詰めかけ、「これ以上上がったら生活が大変」「制度は廃止のはずなのだから、値上げしないのが当然」といった批判の声が相次いでいます。

2/4頃には保険料の詳細が出されると見られており、札幌では各区での説明会も要求していきましょう。



後期高齢者医療制度は ただちに廃止!道民集会

2月6日(土)14時~16時
菊水ビル4階

(地下鉄菊水駅下車、勤医協札幌病院裏)
オープニング

後期高齢者医療の情勢報告
リレートーク 行動の呼びかけ
国会議員あいさつ など

<入場無料>

後期高齢者医療制度に怒る道民の会

国保短期保険証・窓口留め置き分 全世帯へ郵送

4246世帯(子供のいる世帯465)に1/15郵送



「折衝の機会を増やす」というのを口実に、国保短期保険証の窓口交付(留め置き)が行われていて、その中には子供のいる世帯もあるため、特に子どもの窓口交付はやめるよう要求していました。年末の東区社保協の交渉とその後の申し入れでも実態を明らかにし、やめるよう要請しました。12/28には道生連が市の国保課に要請していました。

1/12には国保課から「学校が始まる前に、子どもだけでなく全世帯に保険証を送ることを決め、15日にいっせいに送ります」との連絡があり、当面国保短期保険証の留め置きは解消になりました。今後についても、少なくとも子供の保険証窓口交付はやめさせましょう。